

■地域社会に寄与 市功労表彰者に8人



前列左から樋口政幸さん、臼井益子さん、竹岡尚恭さん、宮澤市長、高山市議会議長、若宮昭三さん、小出博一郎さん。後列左から宮田総務部長、村上副市長、山田市議会副議長、丸山教育長（塩原勉さんは当日欠席）。写真中央は鳥羽泰子さん・鳥羽泰之さんから寄贈された書・色紙

平成24年度安曇野市功労表彰式と新年祝賀会が1月4日、安曇野スイス村サンモリッツ（豊科南穂高）で行われました。功労表彰式では8人に感謝状などが贈られました。受賞者は次の皆さんです。

竹岡 尚恭さん（三郷温）

38年間にわたり保護司として活躍され、更生保護活動と犯罪のない明るい社会づくりに貢献されました。

臼井 益子さん（穂高北穂高）

34年間にわたり保護司として活躍され、更生保護活動と犯罪のない明るい社会づくりに貢献されました。

若宮 昭三さん（穂高）

28年2カ月にわたり防火管理者協議会会長として活躍され、防火意識の高揚と災害予防活動に貢献されました。

小出 博一郎さん（明科七貴）

20年3カ月にわたり消防業務に従事され、市消防団団長を務めるなど、消防団活動に貢献されました。

塩原 勉さん（穂高）

20年間にわたり消防業務に従事され、市消防団班長として、消防団活動に貢献されました。

樋口 政幸さん（豊科）

ロンドン2012パラリンピック陸上競技車いすマラソンに出場し、障害者スポーツの発展に貢献されました。

鳥羽 泰子さん・鳥羽 泰之さん（松本市）

川端康成の書、および川端康成・井上靖・東山魁夷の署名入り色紙を寄贈され、市の文化向上に寄与されました。（昨年9月に感謝状を贈呈済み）

■まちづくりの指針 後期総合計画（素案）を答申

市政の最も基本となる総合計画を検討する市総合計画審議会（会長・沼尾史久信州大学経済学部教授）は12月19日、同計画基本構想・後期基本計画（25年度）（素案）を宮澤市長に答申しました。総合計画は、まちづくりの基本的な方向を示す基本構想と基本構想に示す将来都市像の実現に向けた施策の柱となる基本計画などで構成されています。審議会では、平成24年2月から、本年度で終了する前期基本計画の検証や将来人口の推計、社会情勢の変化などを踏まえ、市民意向調査や市民・中学生のワークショップからの意見も取り入れながら素案について審議を進めてきました。今回の素案では、人・地域・産業が連携を強め、市がより成長発展していくため、基本構想を一



宮澤市長に答申書を手渡す沼尾委員長

部あらため、将来都市像を「北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」としていきます。沼尾会長は答申後のあいさつで「計画を具体的に実現するため、今後も市民の声を反映してほしい」と話しました。市ではパブリックコメントを経て答申内容をもとに案をまとめ、3月に決定する予定です。

■人口増に向け 移住・定住促進会議開催

「市移住・定住促進会議」の第1回会議が12月18日、県安曇野庁舎で開催されました。同会議は、少子化などの中、人口増を図り市が発展していくために移住・定住を促進するのに必要な施策などを企画立案します。当日は有識者や商工業・農業関係者のほか、安曇野市に移住した人など、委員14人に宮澤市長

から委嘱書が渡され、会長には等々力賢治さん（松本大学人間健康学部長・教授）が選ばれました。



意見交換が行われた（第1回会議）

今後、数回の会議を行い、提言内容を平成25年8月までにまとめる予定です。あいさつで宮澤市長は「委員の皆さんの知識経験などを持ち寄り、住みたい、住んで良かったと思える市の方向性を出してほしい」と期待を寄せました。

公平委員会 新委員が就任



松岡光正さんが退任し、唐澤武志さん（明科七貴）（写真）が就任しました。任期は平成24年12月22日から平成25年12月21日までです。